

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 阿久根市立大川中学校  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 899 - 1741  
鹿児島県阿久根市大川8250番地

E-mail kamiduru@gamail.city.akune.kagoshima.jp（校長メール）  
Website http://www.school.city.akune.kagoshima.jp/ookawat/

幼児児童生徒数 男子 9 名 女子 4 名 合計 13 名  
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

## 3. 活動内容

※ 本校は、E S D を自分で、あるいは協働して、問題を見出し、解決を図っていく学習と捉え、実践を通して学校教育目標である「人前力」を育成していくこととした。具体的には、主として、下記のような学習活動に取り組んだ。

### ① シルバーフレンド活動

この活動は、地域の高齢者の方々との交流活動を行い、地域社会の様々な実情に関心をもったり生きる知恵を学んだりすることを通し、郷土を愛する態度や高齢者を敬う気持ちを育成することをねらいとして行われている。平成 26 年度より校区内の高齢者の方々に学校へ集まっていただき、一緒にグラウンドゴルフを行い、その後、本校の目標である「人前力」を発揮する場として、生徒たちが日ごろの学習の成果を披露する時間を設けている。グラウンドゴルフでは、今年度は各区のチームの中に生徒が一人ずつ入るチーム構成をとったことで、高齢者の方々と会話しながら楽しくプレイし、交流を深めることができた。また、発表内容（演目）として、国語の授業で行った暗唱、市音楽発表会で発表した合唱、和楽器演奏等を発表している。

活動終了後には生徒がお礼状を作成し、参加していただいた高齢者一人一人に送付した。年末には活動時の写真をカレンダーにして配付もしているが、これらの経費は、市「あくねっ子事業」助成金を活用している。

### ② 大川 C T (OKAWA Creative Time)

この取り組みは従来「総合的な学習の時間」でのコース別学習であったが、生徒数の減少に伴い、今年度は E S D の視点をより明確にした「エココース」

のみの開設とした。

この「エココース」では、環境改善の視点からエコ活動に取り組む意義をまとめるとともに、廃油石鹸作りと給食後の使用済み牛乳パックを活用した和紙作りを進めている。活動の成果については、隣接する小学校との合同開催になる「大川小中合同文化祭」で発表することとしている。

### ③ ボランティア活動

#### ア ペットボトルキャップ収集

キャップを集めてボランティア団体に送ると、各種ワクチンの購入費用に充当できることから、本校ではこれまで生徒会・ユネスコスクールの重要な活動と位置付けながら、この取り組みを進めてきた。生命尊重の視点や持続可能な社会づくりを目指していく上でのリサイクルという面ばかりではなく、ペットボトルキャップを収集することなしにそのまま燃やしてしまうと膨大な二酸化炭素増加にもつながること等にも目を向けさせることができる活動にもなっている。

#### イ 廃油石けん作り

各家庭から廃油を集め、エコ石けんを作り、文化祭当日に地域の方々に配る活動を13年前から進めているが、上記したエココースにこの活動が組み込まれたのは一昨年である。

### ④ 「いじめ問題を考える週間」道徳の時間の授業公開

例年9月、全校的に道徳の授業を保護者や地域の方々に公開している。近年は校区在住の学校関係者評価委員の方々にも呼びかけることで、参観者数が増えつつある。授業後は、生徒会が「いじめは絶対に許さない」と全校生徒に呼びかけを行い、「いじめ問題を考える標語」を募集している。優秀作品については、生徒会が表彰し、ポスター化して校内掲示している。

### ⑤ ユネスコ新聞の発行

本校では学校便り「大川魂」を月に一度発行し、校区内の全世帯及び同市内の全学校を含む各教育機関に配付している。平成25年度から二か月に一回、その裏面に生徒会本部が中心となり作成した「ユネスコ新聞」を掲載し、学校で行っているユネスコ活動の紹介やボランティア活動への参加呼びかけなど、多くの方々へ発信している。

### ⑥ ユネスコ集会の開催

隔週火曜日の朝にユネスコ集会を設定している。この集会では、今年度はペットボトルキャップ収集活動を主に行った。地域の方々に持っていただいたペットボトルキャップの中には、汚れたものや金属製のもの、ペットボトルキャップ以外のキャップも含まれているため、回収したペットボトルキャップを洗ったり分別したりする活動を、年間を通して行った。

①



②

③イ





⑤

皆の協力と人前力ののおかげです、一年間ありがとうございました！ 大川中学校

1年間生徒会長を任じて、阿久根市中学生会議が一大変で、色々なことがあつた。思っていたよりも大変な思いをした。1年間ありがとうございました。

新生徒会役員の名です。よろしくお願ひします。

この1年、生徒会長に任じて、毎日、勉強です。僕も、この1年、人前力を勉強しました。みんな、人前力を勉強して、僕も、この1年、人前力を勉強しました。僕も、この1年、人前力を勉強しました。

副会長に任じて、色々、勉強です。僕も、この1年、人前力を勉強しました。僕も、この1年、人前力を勉強しました。

2017.12.22 第16号

エコキャップを回収しました  
12月20日、今年3月31日まで回収できるエコキャップの回収活動を行いました。回収したエコキャップの数は、約1000個です。回収したエコキャップの数は、約1000個です。回収したエコキャップの数は、約1000個です。

使い終わった紙を回収しました  
12月18日、16時、使い終わった紙を回収しました。今年、5月1日に共同募金会が回収活動を行いました。回収した紙の量は、約100kgです。回収した紙の量は、約100kgです。回収した紙の量は、約100kgです。

1月の活動計画  
ユネスコ部会・・・書き出しが活動の呼びかけをする。  
文化部会・・・書き出しを展示する。反響カードをつくり、実施する。  
保健部会・・・給食についての保健部新聞をつくる。身体測定の実施をする。マスク着用を呼びかける。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input checked="" type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他( 始業前のボランティア活動の時間等 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「ぐるぐる～ESDって何だろう」  
大牟田版「Sustainable Development」  
誠建設（鹿児島県薩摩川内市）HP 等

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。  
※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

・ユネスコスクールとしての活動は、教育課程では特別活動（生徒会活動）に位置付けられている。また、ユネスコスクールの趣旨を補完し、各領域との有機的な関連を図るために、別個にユネスコスクール全体構想を教育課程内に位置付けている。指導方法については、学校評価で得られた反省に基づきながら、工夫改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

※チェック事項 1-4 に対応

・ユネスコスクールとしての活動を、生徒会組織と生徒会年間活動計画に明確に位置付けている。職員の指導体制についても生徒会活動に係るものと同様であるために、共通理解・共通実践・引継等が円滑に進められている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクールとしての活動は、特別活動（生徒会活動）に位置付けられた形で、定例（学期末）の学校評価の対象になっている。本校は県内唯一のユネスコスクールであるため、県外のユネスコスクールとの交流を積極的に推進していくことが当面の課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。  
※チェック事項 2-2 に対応

主に本校HPと学校だより、エコキャップ活動への協力企業（薩摩川内市誠建設）のHP等を通して、本校の活動成果を発信している。本校の取り組みは、地域住民はもとよりエコキャップ活動に取り組む県内の小中学校等に認知されるようになってきている。発信に対しての様々な反応は、生徒たちの活動への意欲付けに大きく貢献している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
※チェック事項 2-3 に対応

実績なし。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成  
※チェック事項 2-4 に対応

実績なし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）  
※チェック事項 2-5 に対応

本校は、学校教育目標として「人前力発揮」を掲げている。ユネスコスクールの活動を通して、「人前力」を構成する①自信をもって表現する力、②他者の思いを受け止める力、③協働してより良いものをめざす力が、着実に生徒たちに備わってきていると評価している。

### （3）平成 30 年度の活動計画

基本的には、今年度と同程度のものを計画している。しかしながら、次年度は全校生徒数が 13 名から 7 名に半減してしまうという状況があり、生徒への負担軽減を図りながらユネスコスクールとしての質を維持していくために、活動内容を精選していくことを検討している。